

学年だより

渋谷区立上原中学校 第3学年

令和4年3月17(木)

NO. 44



卒業おめでとう

偶然出会った103名、正式に言うとプラス6名(転出した生徒)、楽しいこと、辛かったこと、悩んだことなど共有した3年間でした。1年生に入学してきたころ、とてもいい挨拶ができるなあと感じました。エネルギーのある学年で、自分の気持ちを素直に表現できる雰囲気か3年間を通してありました。

それは自分を取り巻く周囲の人達が優しくなかったからではないでしょうか。自分のことを良い所も悪い所もすべてとは言わないが受け入れてくれる友達がいたからではないでしょうか。1年から3年まで年度始めの学年集会で必ず「誰に対しても優しい気持ちをもとう!」ということを書いてきました。それを知らず知らずのうちにみんなは表現してくれていました。男子も女子も関係なく居心地のよい集団になったのではないのでしょうか。前にも学年だよりに載せましたが体育祭の後2年生が書いてくれた作文がみんなを表現するのに一番かなあと思い、もう一度紹介します。

前略【自分が一番感動したのは、勝ったら全員で喜んで、負けたら全力で悔しがっている3年生を見た時です。竹取物語で優勝したクラスが男女問わず飛び跳ねて喜んでいたのは、今でも記憶に残っています。そして全員リレーのゼッケンを回収している時、おしくも2位だったクラスの先輩は下を向いてとても落ち込んでいました。でも、そのクラスの一人が「まだハリケーンが残っているよ。」と声をかけると、周りのクラスメイトも「そうだよ。そうだよ。」と前を向き始めました。私はこんな3年生を見て、先輩達はこの体育祭にすべてをかけているんだなと強く感じました。

中学生になると、全力で喜びことを恥ずかしがったり、ださいなと思う人が増えると思います。自分も時々そう思う時があります。ですが、全ての演目の結果に対して感情を大きく表す3年生を見て、とてもカッコいいなと思いました。そして、恥ずかしがっていた自分がださいなと思いました。

体育祭が終わった後、何人かの先輩に「お疲れさまでした。とてもカッコよかったです。」と伝えると、「来年の最後の体育祭、全力で楽しんでね。」と言ってくれる人が多かったです。そこで私は、こんな先輩になりたい、後輩にあこがられる先輩になりたいと感じました。】

明日は卒業式です。1、2年生全員は参列できませんが、少なくとも代表で参列してくれる後輩には、今の3年生らしさを見せたいですね。

そして義務教育9年間を終了するにあたり、一番支えになってくださったのは保護者です。中学校生活最後の姿を堂々と保護者に見せて欲しいと思います。保護者の皆さま3年間、学校の教育活動にご支援いただき本当にありがとうございました。

それぞれの道へ羽ばたき活躍することを期待しています！



救命救急講習

渋谷区の消防署の方に学校に来ていただき、救命救急法の実技講習を行って下さいました。事前にタブレットで動画の講習を受け、テストにも合格した生徒が実技講習を受講しました。これはその時の様子です。



・卒業式が終わっても3月31日（木）までは上原中学校の生徒です。生徒手帳を捨てたりせず保管しておきましょう。また自覚をもった行動をとりましょう。

・卒業式当日、携帯電話を持ってきたりすることのないようにしましょう。
式が終わったら保護者の方に写真を撮ってもらうようにしましょう。